

# 患話休題

かんわさゆうだい

72



院長 真崎 雅和



## 新型コロナワクチン

日本でも新型コロナワクチンの接種が始まりました。

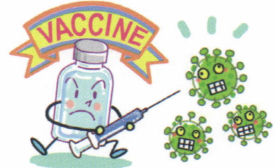
m mRNA ワクチン(ファイザー社、モデルナ社)、ウイルスベクターワクチン(アストラゼネカ社)という新しい技術を用いたワクチンを調達する予定になっていますが、当面使用されるワクチンはファイザー社の mRNA ワクチンとなりそうです。これらのワクチンでは、新型コロナウイルスのスパイクタンパク(ウイルス表面のトゲトゲした突起の部分)の遺伝情報を接種して体内でスパイクタンパクを作り、このスパイクタンパクに対する抗体が作られることで免疫を獲得します。生きたコロナウイルスではないのでワクチンで感染することはありませぬ。また、スパイクタンパクの遺伝情報を体内に接種しても人間の遺伝子の情報が変化することはないと考えられています。

mRNA ワクチンでは「90%以上の予防効果が認められた」と報告されましたが、これは「接種した人の90%が感染せず、10%の人には効かない」という意味ではなく、「接種しなかった人の発症率よりも接種した人の発症率のほうが90%少なかった」という意味であり、発症リスクの低下が期待されます。ちなみにインフルエンザワクチンは50%程度と考えられています。また、発症者で比べると重症化リスクも低下するようです。ただし、感染しなくなるわけではないので、引き続き3密の回避、手指消毒、マスクは必要です。

気になる副反応ですが、他の

ワクチンと同じように注射した部位の痛み、腫れ、だるさ、頭痛等は起こりますが、数日以内には消失するようです。一番心配されるのはアナフィラキシー反応です。100万人に3〜5人(インフルエンザワクチンでは100万人に1人)の頻度で生じると考えられており、呼吸困難、血圧低下、全身の発疹等が生じ、迅速な処置が必要となります。接種後30分以内に起こることが多いため、接種後30分は慎重に様子を見ることが必要です。ワクチンの添加材(ポリエチレングリコール、ポリソルベート80)が原因物質と想定されていますが、これらは他のワクチン、薬剤、化粧品にも広く使われています。過去に予防接種や薬剤化粧品でアナフィラキシー反応やアレルギー症状が起きたことのある方は、かかりつけ医に相談してください。

新しいワクチンであるため、安全性に対する不安から接種を迷っている方も多いでしょう。今後、接種が増えることで有効性、安全性の評価が変わる可能性があります。ですが、ご自身の年齢、基礎疾患を考慮し、メリット、デメリットのどちらを優先するかで判断するしかありません。私は医療従事者であり、重症化リスクに2つ該当(男性、高血圧)しますので、順番が来たら接種したいと思います。



診察時間が近づいたことをお知らせする

約30分前  
**メールサービス**を

ご利用ください。  
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	休診	休診	休診

**真崎耳鼻咽喉科医院**

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321  
秋田市土崎港中央6-8-3